# 日本企業のEU進出を
# フランスの地方政府機関が力強くバックアップ！

## France Alsace

## *L ‘hôtel d’entreprises japonaises du CEEJA*

アルザス「ビジネス・インキュベーター」

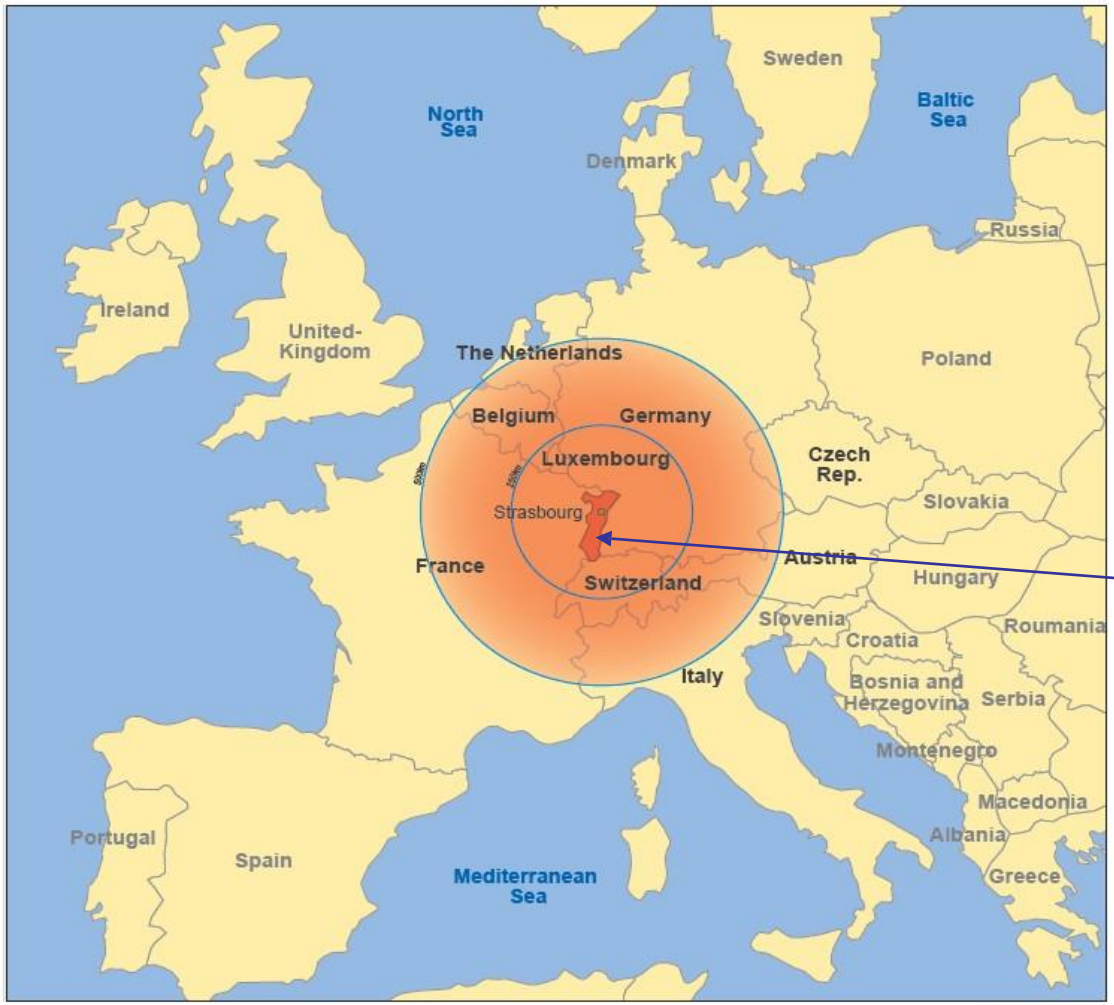
**Alsace Japan Agency**

**Centre Européen d’Etudes Japonaises d’Alsace(CEEJA)**

**アルザス・欧州日本学研究所**


**2018年5月29日**

# ヨーロッパの中心　地理的好条件をもつフランス　アルザス地方



バ・ラン県(Bas-Rhin)

オ・ラン県
(Haut-Rhin)

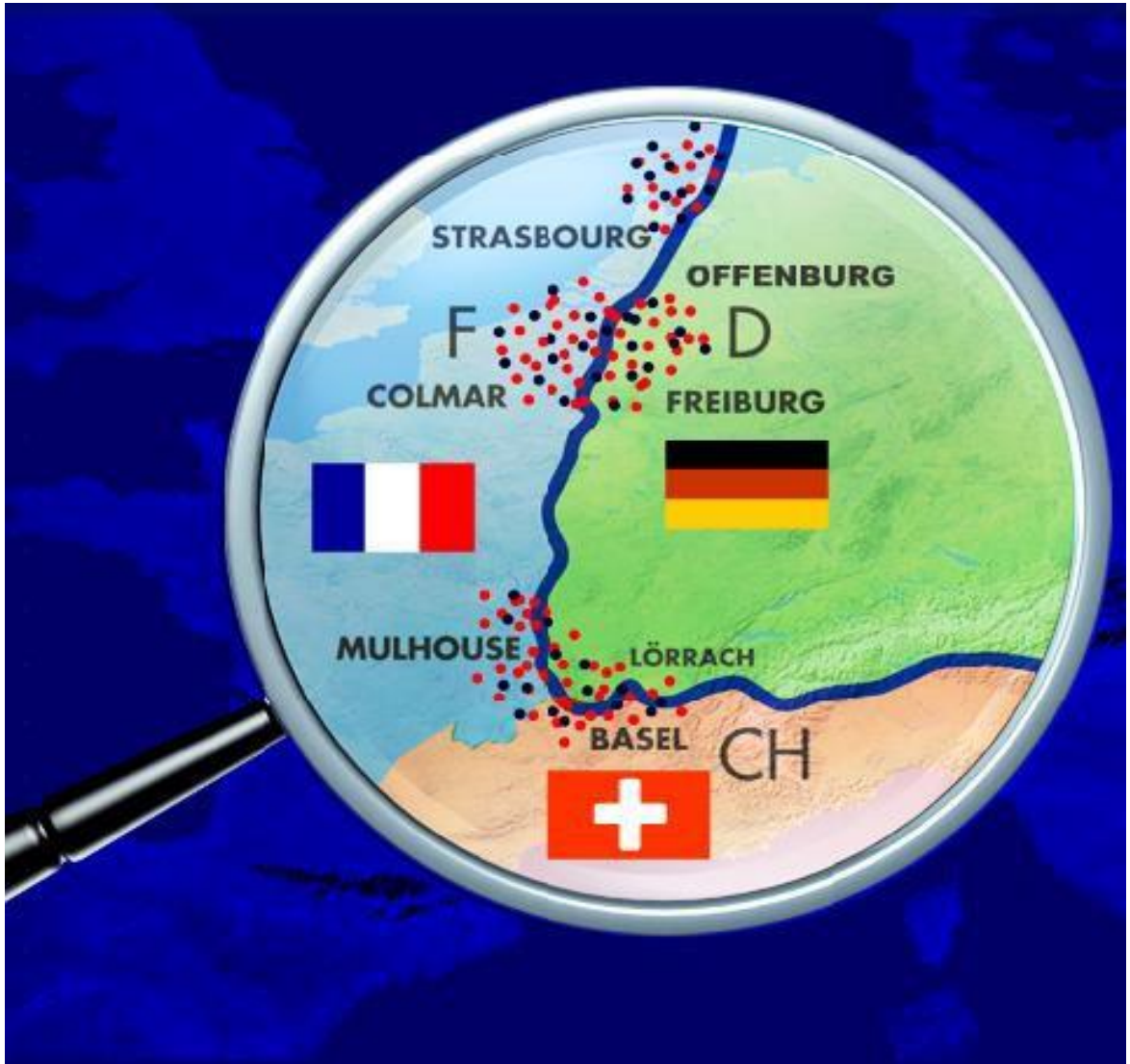
N

0 400 km

Grand Est
ALSACE CHAMPAGNE-ARDENNE LORRAINE

SIG-ESP-1710
Réalisation : Région Alsace / SIG
Données : Région Alsace
Fond de Carte : Région Alsace
Janvier 2005

# アルザス
# フランス・ドイツ・スイス三カ国間連携



# ヨーロッパの首都ストラスブール

## 欧州議会 (European Parliament)

欧州議会（European Parliament）はEU加盟国で直接選挙によって選ばれた議員785名で構成されており、法案を制定し、政策執行を行うEU委員会（ブラッセル）を監視する。

## 欧州評議会（Council of Europe）

民主主義、人権、法の支配といった共通の価値の実現に向けた加盟国間の協調の拡大を目的としてストラスブールに設立。現在の加盟国は、EU27か国に旧ユーゴ諸国、日本等を含め47 か国。

# アルザス及び近隣地域圏にある大学

Université
de Strasbourg
学生数42,000人

Université de
Haute-Alsace
Colmar and Mulhouse
8,000 学生

Universität Freiburg:
学生数19,500人

Fachhochschule
Offenburg: 2,000人

Universität Konstanz:
8,000人

Berufsakademie Lörrach:
1,000人

Universität Basel: 学生数 8,000
Fachhochschule beider Basel /
University of applied sciences Basel

# ヨーロッパの中心に位置するアルザス地方

アルザス地方はヨーロッパの中心に位置し、

古くから東西南北ルートの交易路として栄えた。

人口は約１８０万人。
仏国第2の個人所得水準。

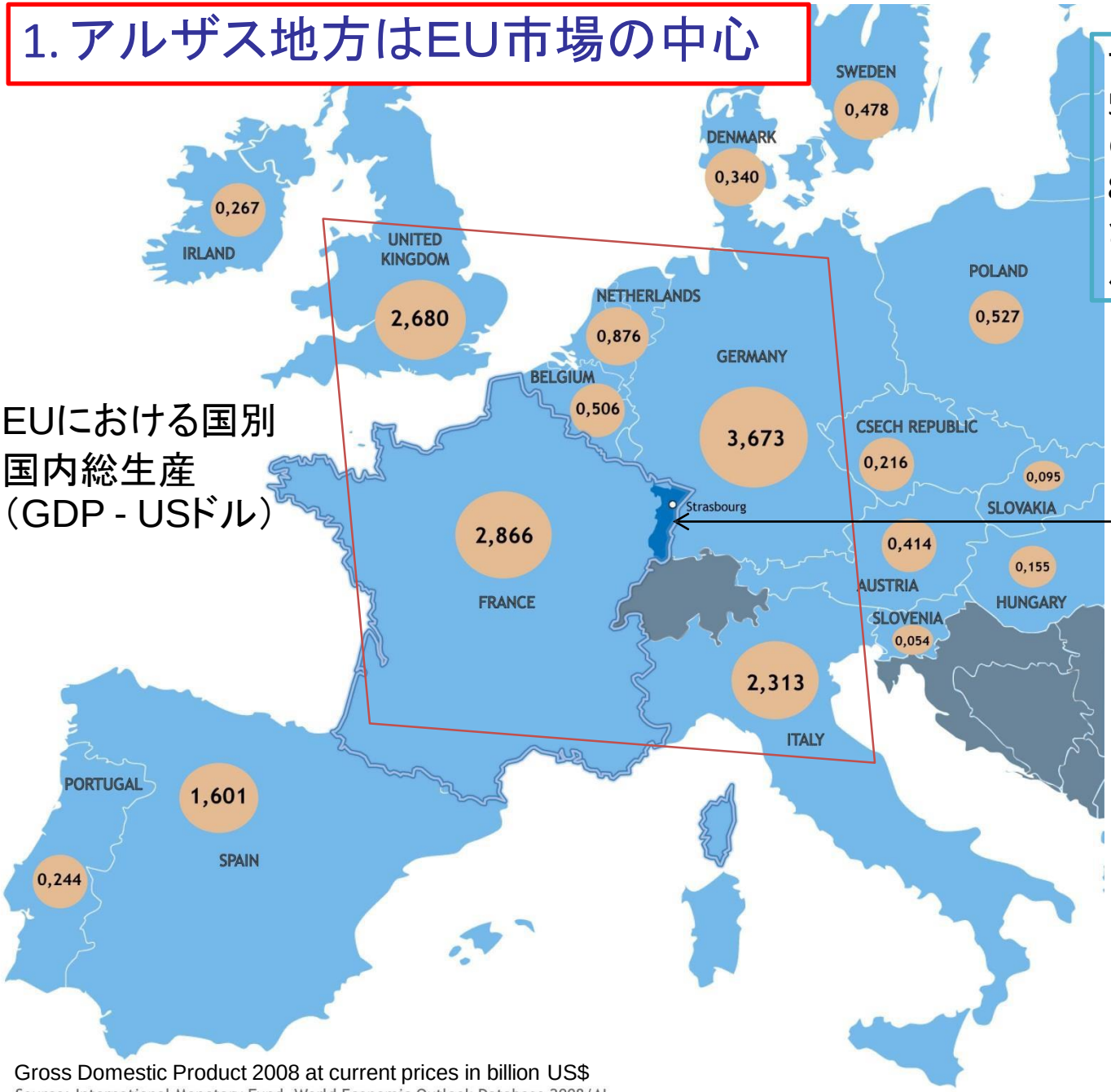
仏を代表する国際企業（Alcatel，Alstom）の
発祥の地。

現在は欧州議会や欧州評議会が設置され、
ＥＵの中心。

# 1. アルザス地方はEU市場の中心

アルザスを中心とする
500km圏内にヨーロッパ資源の70%が集中
800Km圏内にヨーロッパ全土の75%の購買力
産業・サービスの50%が集中

EUにおける国別
国内総生産
（GDP - USドル）



ストラスブール（フランス）
とケール（ドイツ）間の橋

Gross Domestic Product 2008 at current prices in billion US$
Source: International Monetary Fund, World Economic Outlook Database 2008/AI

# Alsace: EU市場へのアクセス

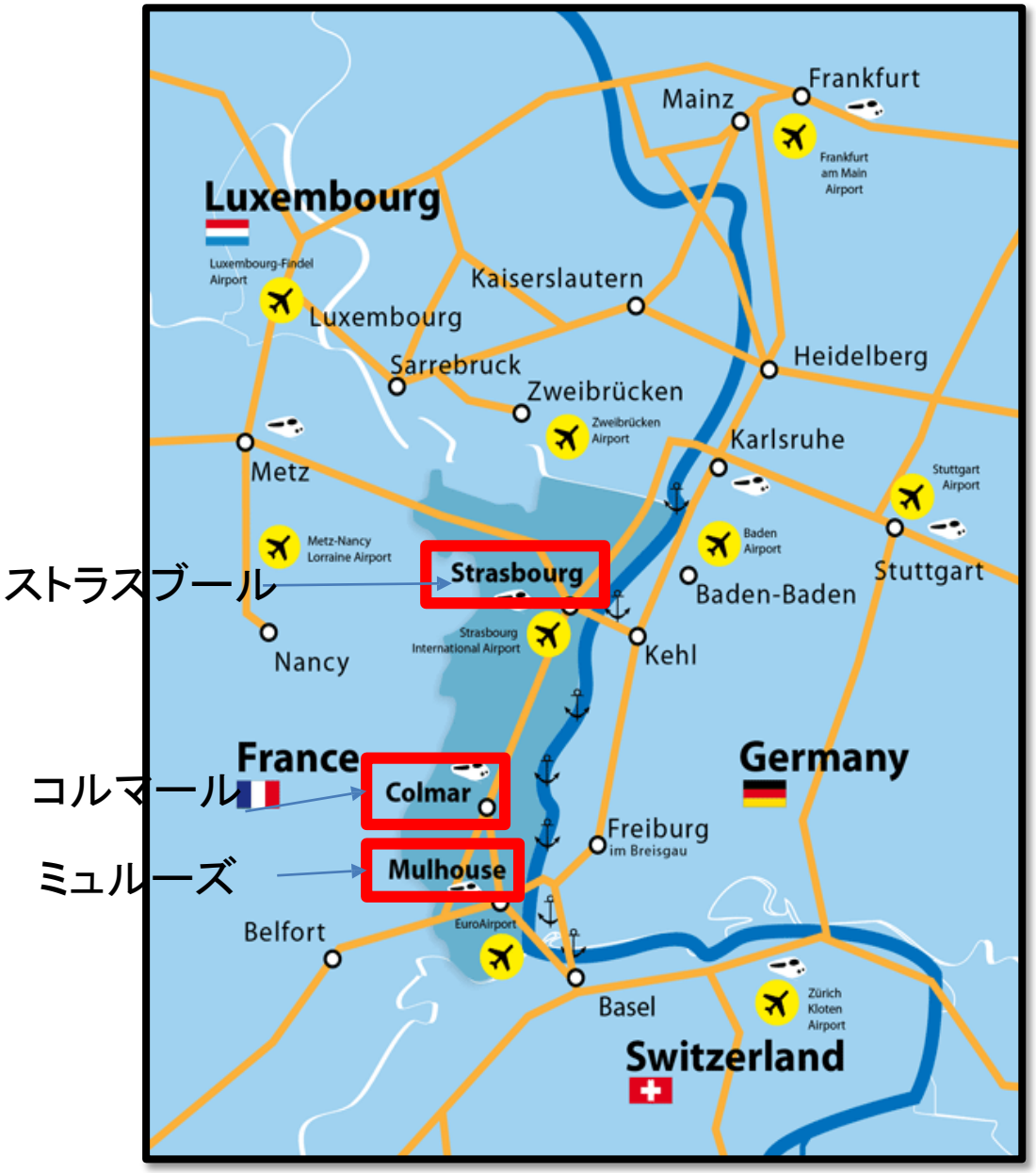
国際空港

高速道路

ライン川

高速鉄道

交通・物流条件に恵まれている
アルザス地方



**≪アルザス地方概要≫**

■面積 ： 8280 km²

■国内総生産（一人当たり）：
26,532 ユーロ
*（フランスの地方において第２位）*

■人口: 180万人

■人口密度: 217 人/km²

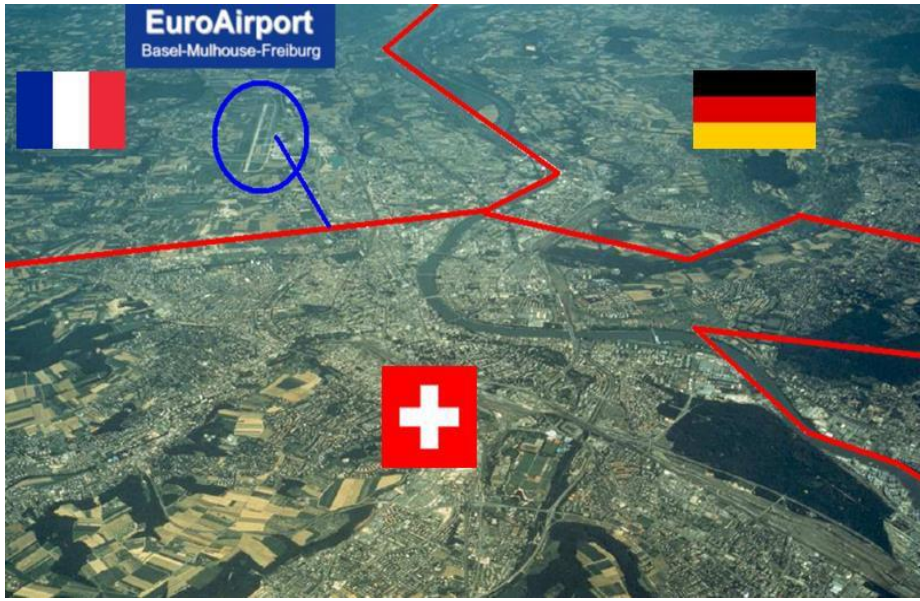
■主な都市:
ストラスブール(Strasbourg)
451,000人
ミュルーズ (Mulhouse)
235,000人
コルマール ( Colmar)
87,000人

# アルザスの何処からでも国際空港までは２時間以内でアクセスが可能

. アルザスには国際空港が２つある

. ドイツのフランクフルト空港へ、スイスのチューリッヒ空港へも行ける

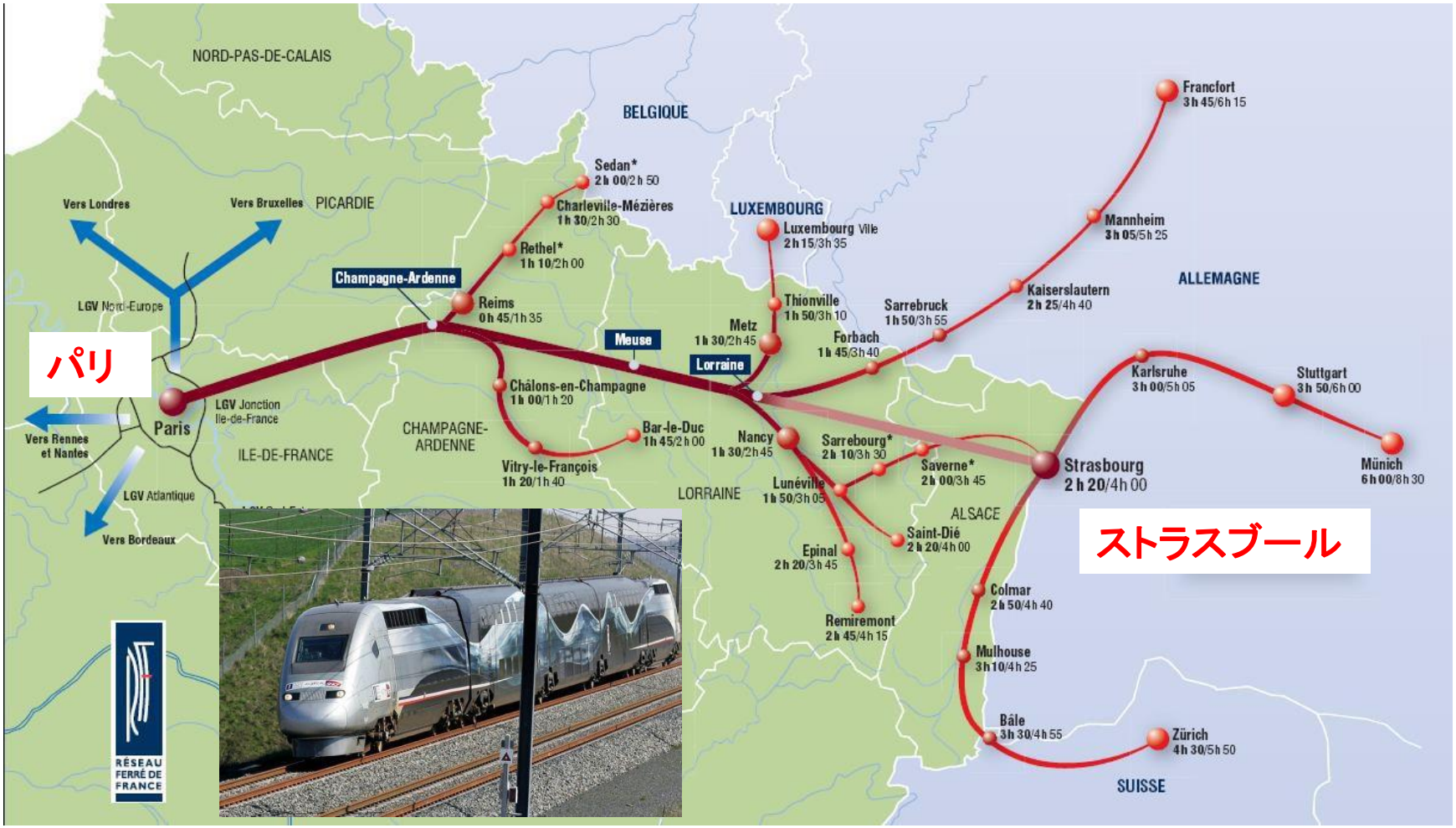
. 日本からはフランクフルト、チューリッヒ、パリからのアクセスが便利

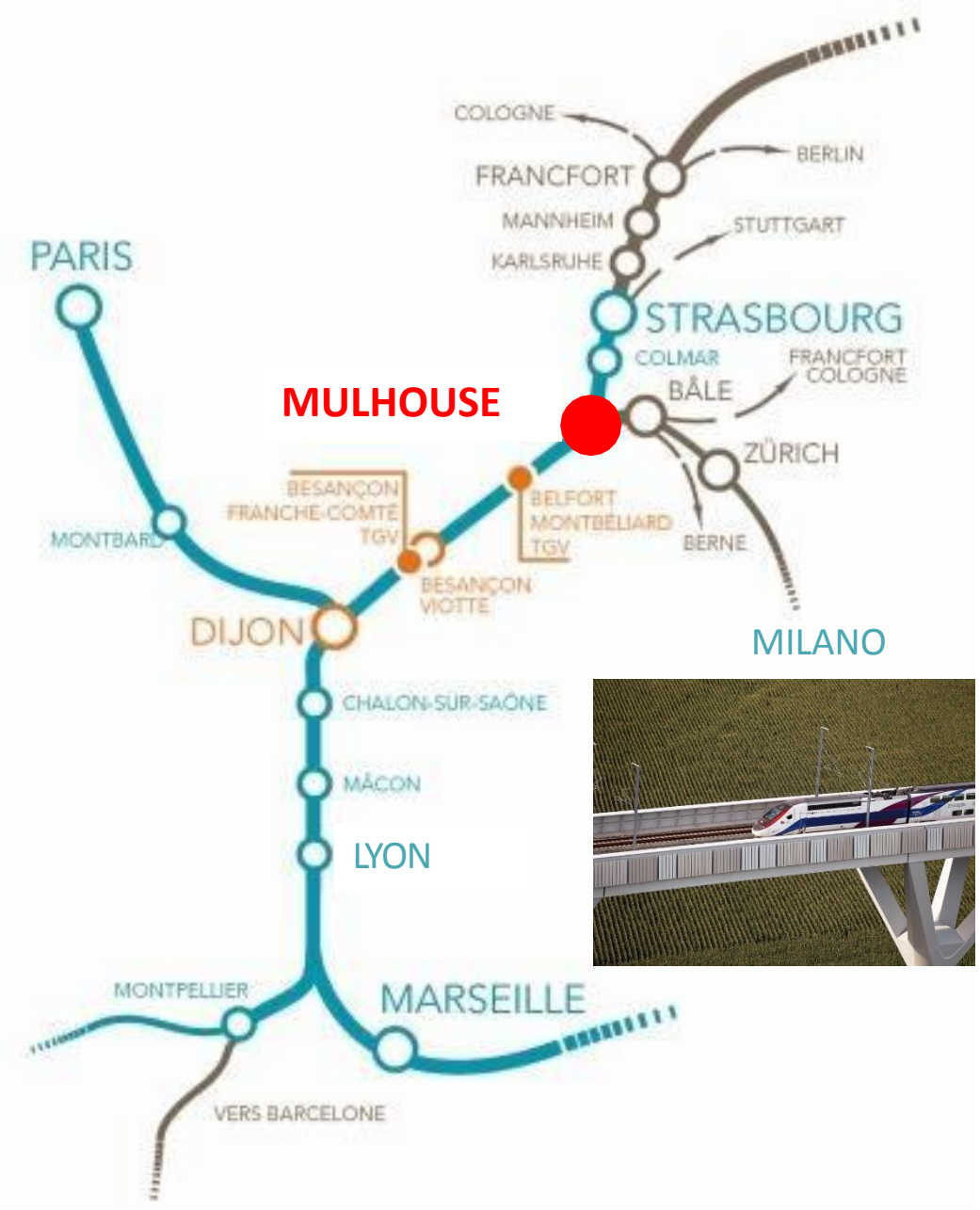


航空貨物輸送にはフランス第2位の貨物飛行場バーゼル＝ミュールーズ空港、もしくは車で2時間北上すればヨーロッパのハブ空港フランクフルト空港を利用することが可能

# EuroAirport
## Basel-Mulhouse-Freiburg

# TGVによるアクセス: パリ ⇨ ストラスブール（Strasbourg）
## 2時間20分（2016年 = 1時間50分）






## TGVによるアクセス:
## ミュルーズ市（MULHOUSE)から

バーゼル（スイス）:18分

ストラスブール: 39分

チューリッヒ（スイス）: 1時20

ベルヌ（スイス）:1時25

リヨン: 2時50

パリ:　2時20

マルセイユ:　4時40

ミラノ（イタリア）:4時50（普通電車）

# 高速道路網

**アルザス地方の高速道路はヨーロッパ各国へ直結している**

## ストラスブールからのトラックの所要時間

< 2時間
バーゼル、シュトゥッツガルト

< 3時間
フランクフルト、チューリッヒ、ルクセンブルク

< 4時間
ブリュッセル、ミュンヘン

< 5時間
ミラノ、リヨン、パリ、アントワープ

< 7時間
ロッテルダム、ル・アーブル、マルセイユ

- 陸路と鉄道の交通ネットワークに連結
- ストラスブールの港からフランス、ドイツの高速道路へ10分

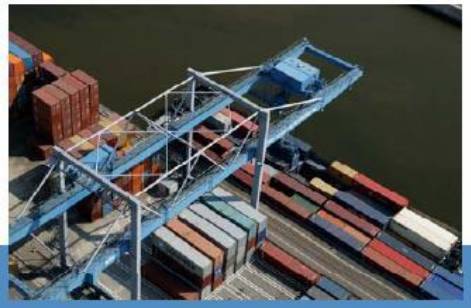
# ライン川を利用した輸送ルート

# 物流拠点の一例: ストラスブール港

THE AREA OCCUPIED
BY THE PORT AUTONOME DE STRASBOURG

Middle Ages

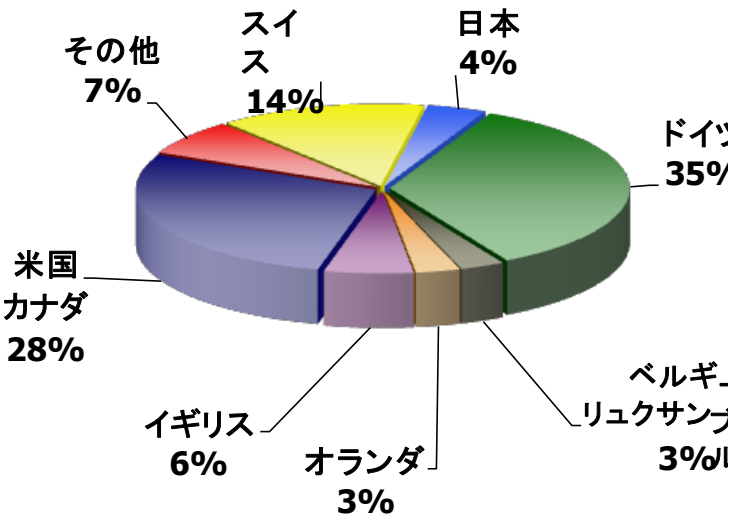
1892



Today

# 4. フランス・アルザス地方における産業

## 外国企業の国別一覧




## 代表的な企業

- PSA Peugeot-Citroën, Rhodia, Clemessy...
- Schaeffler France, Behr France, Sew-Usocome...
- Liebherr, Kuhn, Novartis...
- Eli Lilly, General Motors, Timken...
- Sharp, Ricoh, Sony, THK, Mitsubishi Heavy Industries...
- De Dietrich Thermique, Bestfoods Sourcing Unit, DSM...
- Gunther Tools (Sandvik), Sidel (Tetra Laval), Ritzentaler, (Gunnebo)...
- DS Smith Kayserberg (David S. Smith), Cryostar (The BOC Group)...

- 英語・ドイツ語・フランス語のトリリンガルが多い
- フランスの中で一人当たりの輸出の一番多い地方

# 大手企業に選ばれるアルザス

| | |
|---|---|
| SUBWAY | (米 – 食品) |
| MASTERFOODS | (米 – 菓子製造) |
| RICOH | (日 – コピー機部品) |
| THK | (日 – ベアリング) |
| TIMKEN | (米 – 軸受け) |
| DAIMLER-CHRYSLER | (独/米 – 自動車部品) |
| VIKING | (豪 – 造園機材) |
| ADIDAS | (独 – スポーツウェア) |
| WÜRTH | (独 – ハードウェア製造) |
| WINTEK | (中 – LCD モニター) |
| HJC | (韓 – バイク用品) |
| GRIPPLE | (英 –ハードウェア製造) |
| PEUGEOT | (仏 – 自動車) |
| SAGEM | (仏 – 電化製品) |
| OSRAM | (独 – 電球) |

- BMW-フランス、ドイツバーデ・ヴルテンベルク地方への部品の輸送
- BLACKHAWK- international distribution platform
- TRIUMPH-在オベルネ、世界20カ国向け
- ROCKY MOUNTAINS-distribution centre for the European market

# アルザスにある多国籍企業のヨーロッパ向け物流センターの例

THK

THKでは当初、オランダのロッテルダムに物流センターを置いていたが、今日では欧州の顧客を広くカバーするためにアルザスに移転しました。

THK Manufacturing of Europe
産業用直接運動ベアリングメーカー

DAIMLER

同社はフランスとドイツを検討した結果アルザスに物流センタを設立することにした。現地の業者STRIEBIG社に 120,000 m² の商品保管センターの建設、管理を任せる。今日ではここで、メルセデス、スマート、ジープなどの部品のストックを管理し、世界各国に輸送されている。従業員数は400人。

# アルザスにある産業クラスター

BIOVALLEY
The Life Sciences Network

## バイオ・バレー：強力な医薬品産業

- 300以上の企業、150の大学および公共研究施設
- 15 000人の研究者、70 000人の学生

Pôle Véhicule du Futur
Solutions pour véhicules & mobilités du futur

## 次世代自動車計画クラスター

- メーカー4社、部品メーカー58社、下請け業者400社
- 自動車生産台数100万台

### アルザス再生エネルギー クラスター

- 太陽エネルギー、地熱エネルギー、バイオマス分野の開発を促進

Pôle Textile Alsace

### アルザス・テキスタイル クラスター

- 140社、8500人の従業員を抱えるネットワーク
- 不織布の分野は国内の50%以上の生産量

### 化学分野の最重要地域

- 企業数150社、60化学研究グループ
- ストラスブールの化学研究は国内トップ

### 食品分野

- 企業数2000社、23400人の従業員
- チョコレート、ビールなどは国内の50%以上の生産

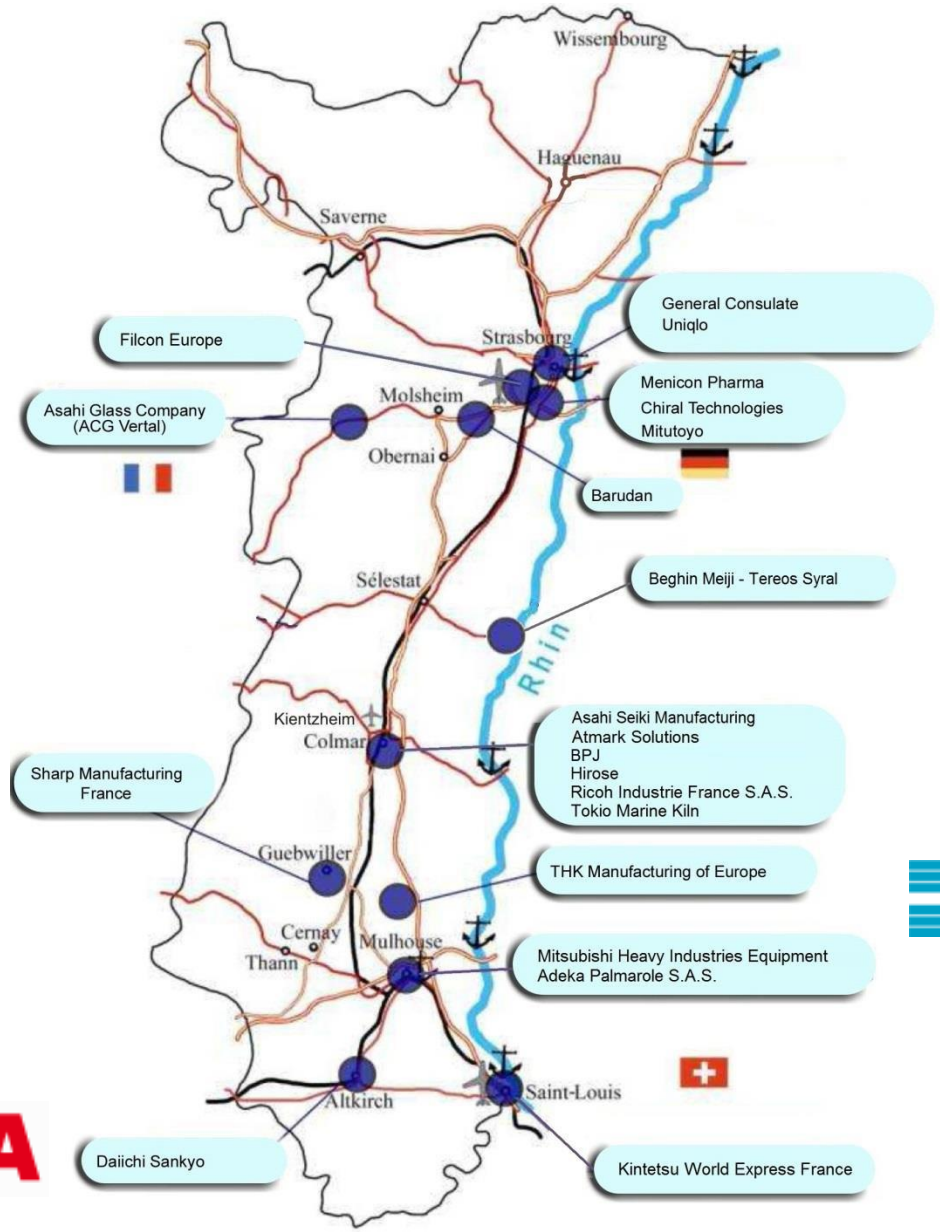
# アルザス航空宇宙クラスター　アエロアルザス

アルザスの航空宇宙産業における官学民連携の組織
アルザスにある120社の航空宇宙産業企業が会員
フランス東地域圏政府、オ・ラン県、アルザス商工会議所等が支援
210社が航空サービス部門に従事
航空宇宙産業での直接雇用9,000人
総売り上げ　年間10億ユーロ以上

# アルザスと日本
# 強い絆

- アルザスと日本の関係は150年前の江戸末期にさかのぼる
- 当時、繊維産業で世界をリードしていたミュルーズから、和柄を基調とした繊維製品を日本へ輸出
- 経済交流から文化交流へ 「ジャポニズム」ブーム
  モネ、ゴッホなど「印象派」、「アールヌーボー」へ影響
- 1982年日本代表部を設置
- 1980年代後半、日本のリーダーカンパニーがアルザスに工場進出
  現在、20を超える日本企業及び学術機関がアルザスに進出
  域内で*5, 000*を超える雇用を創出、アルザスは人口一人当りの日本からの投資額はフランスでは最も多い地域
- 在ストラスブール日本国総領事館、ヒューマンフロンティアサイエンスプログラムの設置
- アルザス・欧州日本学研究所(CEEJA)の設置
- アルザスは親日派・知日派の最も多い地域

# 日本系進出企業




RICOH Image Communication

THK LM SYSTEM

For New Technology Network NTN

MEE MHI EQUIPMENT EUROPE B.V.

TOSHIBA

Daiichi-Sankyo 第一三共株式会社

meiji 明治製菓

Menicon europe

ダイセル化学工業株式会社 DAICEL CHEMICAL INDUSTRIES, LTD.

ADEKA

# アルザスの恵まれたビジネス環境で多数の日本企業が進出しています

RICOH

Menicon europe

MITSUBISHI HEAVY INDUSTRIES, LTD.

ADEKA

THK
The Mark of Linear Motion

## 在ストラスブール日本国総領事館
## Consulat-Général du Japon à Strasbourg

•在ストラスブール日本国総領事館、1992年設立
(フランス国内では在パリ大使館、マルセイユ総領事館に次ぐ)

•2014年現在、アルザス地方在住の邦人数は約500人

•合計24名の館員が、領事業務、広報文化業務などに従事

•邦人向けサービスとしてE　メールでの情報提供(メルマガ)を開始されました。安全情報、領事関係のお知らせと同時に、現地で仏人などと接触する機会に知っておくと役立つ日本に関する情報についても配信しています。

http://www.strasbourg.fr.emb-japan.go.jp/

日仏交流 150 周年

# インターナショナルスクール

日本人の児童は、フランスの公立学校、もしくは以下のようなインターナショナルの学校に通うことができます。

■エコール・アンテルナショナル・ロベール・シューマン
Ecole International Robert Schuman
欧州議会、評議会に参加する各国議員の子女が母国語を当地でも維持することを第一目的として います。

■リセ・アンテルナショナル・デ・ポントニエ
Lycee International des Pontonniers
1930年設立、公立／共学／通学制　国際高等学校
外国人（仏語を母国語としない者）用のクラスがあります。

■日本の補習授業校
日本語初等教育課程が設置されています。
この授業は週1回土曜日朝に行われ、日本の6年分の初等教育課程をカバーします。

# アルザスの日本語による補習校

# アルザス・欧州日本学研究所（CEEJA)
# Centre Européen d’Etudes Japonaises d’Alsace

アルザス・欧州日本学研究所(CEEJA)は2001年の設立以来、日本とアルザス間に築かれた強い絆を基に、以下の活動を行っています。

**1. ヨーロッパ市場への進出を見据えた日本企業へのサポート**

**2. 日本とアルザス間の文化・学術交流推進**

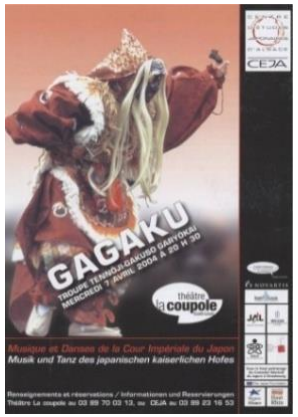
**3. ヨーロッパにおける日本のプレゼンス、日本学研究の要としての役割**

アルザス・欧州日本学研究所は主にオ・ラン県、アルザス地方政府の公的支援を受けて運営しています。
またミュールーズ都市圏、コルマール市、キンツハイム市、東芝国際交流財団など、フランス、ヨーロッパ、日本に100以上の協力関連機関があります。

年間を通してヨーロッパにおける日本研究及び日本文化の紹介を数多く開催。
（国際シンポジウム、講義、研究会議、出版物、展覧会、コンサート、芝居、映画　など）

www.ceeja-japon.com
CENTRE EUROPÉEN D'ÉTUDES JAPONAISES D'ALSACE
CEEJA

▼アルザス・欧州日本学研究所 による科学・文化イベント開催



# アルザス・欧州日本学研究所（CEEJA)

## Centre Européen d’Etudes Japonaises d’Alsace

## 主要建物と事務所　宿泊施設

# アルザス・欧州日本学研究所（CEEJA)
## Centre Européen d’Etudes Japonaises d’Alsace

## 図書館　蔵書13万冊

# アルザス・欧州日本学研究所（CEEJA)

## Centre Européen d’Etudes Japonaises d’Alsace

## ホール、セミナールーム、会議室

# アルザス・欧州日本学研究所（CEEJA)と連携する大学機関

■ ストラスブール大学（日本学学科）

■ 日仏大学会館 （大学院生向け）
Maison Universitaire France-Japon

■ ヒューマン・フロンティア・サイエンスプログラム
Human Frontier Science Program

日本の大学・学術・研究機関
東京大学　京都大学　大阪大学　名古屋大学　岐阜大学　岩手県立大学
慶応大学　早稲田大学　明治大学　立教大学　法政大学　学習院大学　東洋大学
同志社大学　立命館大学　名城大学　など

文化庁、国際交流基金、パリ日本文化センター、国際日本文化研究センター

ヨーロッパの大学
約50の大学と協定、連携

# アルザス「ビジネス・インキュベーター」開設 2015年1月

アルザス・欧州日本学研究所(CEEJA)は日本からのヨーロッパ進出プロジェクトに向け、あらゆる支援、協力をいたします。（日本企業、教育・研究機関、地方自治体などのヨーロッパ拠点）

＊事務所のご提供（レンタル料はほぼ無償。電気水道料など実費のみ負担）。
　　インターネット 、エアコン完備 、CEEJAの事務所施設、図書館、宿泊施設使用可能

＊会議室利用可能

さらにアルザス・欧州日本学研究所(CEEJA)の本部も同敷地の中にありますので下記のような支援が可能：

＊現地ビジネス関係者や政府機関、研究機関とのコンタクト
＊現地でのコミュニケーションお手伝い（通訳、翻訳）
＊セミナーや国際会議、学会、イベントなどの開催協力
＊日本人出向者へのお手伝い（ビザ及び外人登録手続き、アパート探し、銀行口座開設等）
＊会社設立諸手続きのお手伝いや、会計士、商標登録関行政書士、弁護士等のご紹介

# アルザス　ビジネス・インキュベーター

キンツハイムの敷地内にある　9㎡の広さの事務所の様子

- 日本企業に対し、ほぼ無償提供（事務所賃貸費無料、光熱費のみ負担）
- アルザス・欧州日本学研究所のスタッフ（日本語対応可能）による日常的サポート
- 現地での行政や進出前後の手続きに関する協力支援

# アルザス　ビジネス・インキュベーター

アルザス・欧州日本学研究所では日本企業に対、下記のような支援を行っています。

●アルザス各関連機関との協力により、日本語による進出前後の協力、支援。

●日本人出向者とそのご家族のアルザスへの転勤、新居、生活に関するサポート。

（各エージェントとの連絡、言語サポート、現地行政機関との連絡）

●ヨーロッパにおけるビジネス拡大サポート。

ヨーロッパ企業との最初のアポ取りやポテンシャルの高い顧客との面談サポート

●ヨーロッパで開催される展示会や見本市

参加へのサポート。

実際、スタッフが会場へ随行し、展示会前後、期間中のアシスト

le 8 AVRIR 2015

【第三種郵便物認可】 NIKKEI BUSINESS DAILY 日経産

## 仏東部 アルザス地域

# 日本の中小企業誘致

## 事務所賃貸・通訳で支援

フランス東部のアルザス地域圏は日本の中小企業の誘致に乗り出した。割安な事務所や通訳サービスの提供により、欧州での事業拡大を支援する。アルザスは工業が発達した巨大市場のドイツとスイスにも近い。欧州で景気低迷が続き、雇用や税収を生む企業の誘致競争が激しくなるなかで、「地の利」もアピールして技術力の高い企業を取り込む考えだ。

### 独・スイスに近接 強み

オーラン県とバラン県で構成するアルザス地域圏などが出資するアルザス・欧州日本学研究所はこのほど、オーラン県に企業などの入居施設「ビジネス・インキュベーター」を開設した。欧州市場開拓の拠点となる事務所を電気代など諸経費だけで貸す。5～10平方㍍の部屋なら月100～200㌦（約1万3千～2万6千円）で済むという。

日本語のできる職員を配置し、仏独の企業関係者らとの間の通訳サービスを提供する。提携相手となる企業も紹介。人材や人脈の限られた企業でも進出しやすくする。

進出企業の第1号として、すでに特殊樹脂メーカーのエムエフ大阪市、前川勝社長）が事務所を構えた。同社は欧州での特殊断熱材の販売や製造を視野に入れる。アルザスは日本語スタッフの提供などを約束した。

アルザスはドイツ、スイスと国境を接し、自動車や化学などの産業が発展している。人口は約180万人で、域内総生産は約500億㌦（約6兆5000億円）。仏自動車大手プジョーシトロエングループ（PSA）などが工場を持つ。

ただ、対仏投資庁によると2013年までの3年間で日本企業の投資は1件にとどまった。アルザス地域圏は高い技術力を持ちながら、海外展開で出遅れた企業があると指摘する。

アルザス・欧州日本学研究所ディレクターのヴィルジニー・フェルモーン氏は「アルザスは仏独という2つの経済大国の間にある」と述べ、進出先としての魅力を訴える。「欧州展開の足がかりをつかむサポートができる」とも話し、進出企業への支援に自信を見せた。

日本貿易振興機構（ジェトロ）の調べでは、13年の日本企業の海外投資に占める欧州連合（EU）の割合は23％で、04年の23・7％とほぼ横ばいだった。一方、東南アジア諸国連合（ASEAN）はこの間、9％から17・5％へと2倍近くに急拡大している。

欧州では地方レベルで日本企業の誘致などを目指す動きが出ており、スペイン北東部カタルーニャ州は2月、日本企業とのビジネス交流を目指す約50社の同州地場企業の経営者を日本に派遣した。

（寺井浩介）

西欧の中心部にある仏アルザス



アルザスは豊かな自然に恵まれる＝ロイター

日本の欧州向け投資額はASEAN向けに追い上げられている



（注）国際収支ベースでネット、フローの金額。ジェトロの資料を基に作成

アジア・新興国 企業ファイル

## ブルームベリー・リゾーツ（フィリピン）

### カジノ、視線の先に日本も

ブルームベリー・リゾーツは、フィリピンのカジノ運営大手。首都マニラの巨大カジノに中国人観光客や地元客を呼び込み、業績を伸ばしている。このほか韓国への進出を決めたほか、カジノ解禁が現実味を帯びる日本も視野に入れている。

同社が2013年にマニラ湾岸の埋め立て地に開業したのが「ソレア・リゾート&カジノ」。1万8千平方㍍の敷地に高級ホテル、1千台を超えるスロットマシン、ゲームテーブル300台を備える。カジノを観光産業の目玉に位置づけるフィリピン政府は、同地域を「エンターテインメント・シティ」として整備している。4つの大型カジノが完成する予定で、ソレアはその第1号だ。主なターゲットの中国のカジノ解禁もにらみ、日本企業との交渉も始めた。

マニラでは2月、香港企業が運営する大型カジノ「シティ・オブ・ドリームズ・マニラ」を開業した。ライバルとの競争が激しくなるなか、客足を保つ努力が求められている。（マニラ＝佐竹実）

人富裕層のほか、フィリピンで増えている中間層も顧客だ。同社の14年12月期の売上高は約241億㌦（約6500億円）と前年同期のほぼ2倍に膨らんだ。15年1月には、韓国で観光・娯楽施設を開発すると発表。日本でも主要1号を目指す。

《会社概要》
▽本　社　マニラ首都圏
▽設　立　1999年
▽代表者　エンリケ・ラゾン会長兼最高経営責任者（CEO）
▽売上高　約241億㌦（2014年12月期）
▽純利益　約41億㌦（同）
（注）1㌦＝約2.7円

# アルザス・欧州日本学研究所（CEEJA)
# Centre Européen d’Etudes Japonaises d’Alsace
# 宿泊施設

# 国際リニアコライダー（ILC）への全面的協力

2018年５月17日

東京にてILCミーティング

フランス政府及びヨーロッパ
機関との連携

岩手県ILC建設予定地視察

# *皆様のアルザスへのお越しをお待ちしています！*

ご質問、ご要望はお気軽に下記へご連絡ください


Alsace Japan Agency

**Centre Européen d'Etudes Japonaises d'Alsace** (CEEJA)

アルザス・欧州日本学研究所　フランス本部

8 rute d'Ammerschwihr Kientzheim France　TEL

+33 3 89 23 16 53

フランス　アルザス日本代表部

TEL: 052-789-0811　FAX: 052-789-0812

j.goto@ceeja-japon.com


古